

文部科学省

大学教育充実のための戦略的^{大学}連携支援プログラム 平成21年12月14日(第7号)
「教員養成コンソーシアム四国」情報

コンソーシアム

徳島文理大学
「教員養成コンソーシアム四国」事務局

第6号に続いて運営部会で話し合われた内容についてお知らせします。今回は、**地域連携部会**についてお知らせします。

地域連携部会

1 各大学での取り組みについて

(1) 高大連携

①初年時教育について

- チューター制を採用して、教員が授業の履修から生活の相談にまで関わっている
- 個々のゼミにおいて学生の初年次教育に取り組んでいる。
- メジャー制度に合わせて、初年次教育の改革に取り組んでいる。クラスター・アドバイザーの教員が初年次に基礎的スキルを徹底的に指導する。

②ポートフォリオの活用について

- 学生の学習と生活を把握することができる。また、学生が主体的に学習活動をマネジメントでき、進路設計を計画的に行うことができる。
- 高等学校と連携して活用すれば、入学後の指導に有効である。

③高大連携の取り組みについて

- 高大連携においては、教員をめざす高校生を対象に絞った取り組みを行う。
- 教員志望という進路を具体化していくための大学の働きかけが重要である。

(2) 地域との連携

①各大学における取り組み

- 出張講義、公開講座、学生ボランティアの派遣等の取り組みが充実している。

②学校支援地域本部との連携について

- 各県で市町村教育委員会に学校支援地域本部を置いて学校を支援する文部科学省の事業であり、地域の人達が学校に行って教育活動はじめ学校をサポートする取り組みである。
- 教員をめざす学生がボランティアとして参加し、実際に活動をしている。

③地域との連携における取り組みについて

- 学生ボランティアの活動を推進する。
- 教員をめざす学生が地域に関わりながらどのように自身の力を伸ばしていくかという内容に重点を置いた取り組みを推進していく。

2 本年度の取り組みについて

- 情報の交換、体験の共有を目的として学校支援ボランティア等に参加している学生の交流を行う。

3 今後の取り組みについて

- 大学の教育研究資源を地域に還元し、地域の教育力や文化の向上に資する。
- 学校支援地域本部との連携を密にして、学生ボランティアの活動を推進する。
- 講義自動収録・配信システム、テレビ会議システムを活用して大学間の連携を強化するとともに、大学と地域との連携の推進に活用する。

次回は、教員免許状更新講習部会についてお知らせいたします。

